



HERMÈS

HERMÈS
PARIS

HERMÈS

「点」から「面」へ — 百貨店を核に、エリアを魅力化

「点」から「面」へ

J.フロント リテイリングは、店舗そのものの活性化とともに、店舗周辺に高感度なショッピングを展開し、地区全体としての活性化をはかっています。

神戸・旧居留地における周辺店舗開発

この取り組みは、1987年に大丸神戸店で始まりました。当時、神戸地区の交通やビジネスの中心は三宮にシフトが進んだため、大丸神戸店のある元町は相対的に活力を失いつつあり、わざわざ来ていただくための魅力づくりが急務となっていたのです。同店の周辺店舗開発は、まず自社ビルからスタートしましたが、それだけでは地域の活性化には限界があります。そのため、旧居留地内の他のビルにも大丸が窓口となってブランドショップの誘致を積極的に進め、地域全体としての集客力の強化をはかってきました。

“旧居留地38番館”“ブロック30”など、歴史ある近代洋風建築が醸し出す、懐かしい、けれど新しい表情を生かしながら多彩な個性を持つ店舗展開は、今では66ブランド&ショップ(2015年5月末日現在)に至り、街の歴史に新たな時代の息吹を吹き込んでいます。

そして、こうしたノウハウは、他の店舗にも応用が進んでいます。

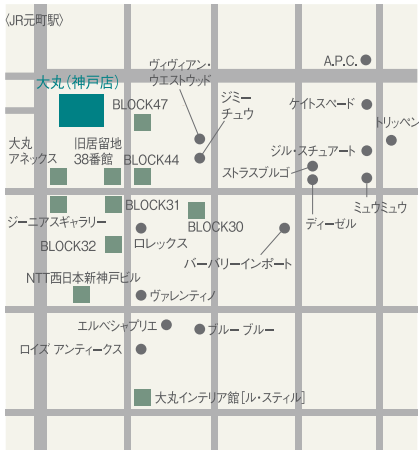
大丸心齋橋店は、心齋橋筋商店街とともに地域の賑わいを創出してきましたが、2003年頃から隣接する店舗の商売を取り巻く環境変化や家主の世代交代が進む中で、事業撤退を選択する老舗も現れました。このままでは、商店街の活気が失われるどころか、放置すればファッションブルな心齋橋のイメージも損なわれてしまう、そうした危機感から心齋橋店においても神戸店の手法を取り入れた周辺店舗開発に着手しました。店内の売場展開では一定の制約を受けるショップデザイン、環境

も路面なら思いきったことができることから、話題性のある店舗が次々と集まり、現在では23のブランド&ショップ(2015年5月末日現在)を展開しています。

また、大丸京都店でも、商業集積度の高い四条河原町に負けない四条烏丸地区の活性化を目指し、2004年にオープンした「ルイ・ヴィトン ストア」を1号店として、その後も周辺店舗開発を進め、これまでファッションからエステティックサロン、さらに2014年6月には「東急ハンズ」をオープンさせるなど、11ブランド&ショップ(2015年5月末日現在)を展開し、地域の賑わい創出に貢献しています。

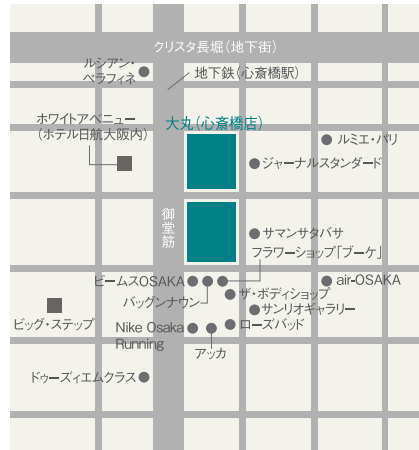
こうした神戸・心齋橋・京都での周辺店舗開発を通じて培ってきた取り組みやノウハウを、今後グループレベルに発展させ、「地域とともに成長するビジネスモデル構築」に繋げていきたいと考えています。

大丸神戸店周辺店舗 ■複数のブランド店舗が入居するビル



ジーニアスギャラリー

大丸心齋橋店周辺店舗



ローズパッド

大丸京都店周辺店舗



エンポリオ アルマーニ